

研究実施のお知らせ

研究課題名：アセトアミノフェン定期投与が心臓血管外科手術後に与える影響～後ろ向き研究
研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2018年1月～2023年12月までに、冠動脈バイパス術を施行した患者様

【研究の目的と意義】

集中治療室においては、心臓血管外科手術後の鎮痛は患者の転機に大きく影響することが言われています。心臓手術後の鎮痛は、医療用麻薬の静脈内投与、非ステロイド性抗炎症薬によってコントロールされてきました。しかし、医療用麻薬は呼吸抑制など、非ステロイド性抗炎症薬は、腎障害、胃腸障害などがあります。そのため、副作用の少ない鎮痛薬が必要となります。そこで今回、私たちは副作用の少ないアセトアミノフェンの定期投与が、非定期投与と比較し、医療用麻薬の投与量の削減、また、鎮痛の軽減の効果、早期リハビリテーションに与える影響を調べることを目的としました。

【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、身長、体重、手術時間、麻酔時間、総医療用麻薬投与量、鎮痛への効果、入院日数、ICU 滞在日数など）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

この研究は、研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心

配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 亀山良巨

麻酔科医長 安達厚子

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）